

鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)

事務事業No.28-3

記入日 平成25年 5月27日

点検日 平成25年 5月31日

事務事業(予算)名	防犯対策に要する経費		作成課・係	安全対策課安全対策係									
政策名	2.3 安全に暮らせる社会システムをつくります		施策	2.3.2 防犯対策の促進		基本事業	2.3.2.2 防犯活動の推進						
関連計画・根拠法令等	①鎌ヶ谷市防犯対策基本要綱 ②鎌ヶ谷市防犯灯維持管理費補助金交付基準 ③鎌ヶ谷市防犯灯新設補助金交付基準 ④鎌ヶ谷市防犯協会に対する補助金交付基準												
事業区分	継続	前回総合評価	7.拡充	実施計画掲載	無	行革推進対象	無	事業実施主体	4. その他(自治会等防犯灯管	事業開始年度	平成13年度以前	事業終了予定年度	平成32年度以降
関連類似事業名	なし		予算(款)		2	予算(項)		1	予算(目)		11	予算コード	0301

1. 事業の目的	(1)事業の対象(誰を、何を対象としているか。範囲は。※補助事業等の場合は負担金・補助金の支払先も記入)	対象指標	指標名称(対象の大きさを表す)	データ出典
	○防犯灯補助事業:市内自治会等の防犯灯管理団体	→	①防犯灯設置灯数	業務取得
	○防犯協会補助金:鎌ヶ谷市防犯協会		②防犯灯管理団体数	業務取得
			③防犯パトロール隊参加者数	業務取得
(2)事業の概要(手段、具体的な事務事業のやり方、手順、詳細を記入)	活動指標	指標名称(手段や活動内容を示す)	データ出典	
○防犯灯補助事業:市内自治会等の防犯灯管理団体が行う防犯灯の新設及び維持管理費に対し補助を行う。	→	①防犯灯新設事業費補助灯数	業務取得	
○防犯協会補助事業:①防犯意識の啓発普及及び自主防犯活動推進のための地域安全活動事業②青年の非行防止のための活動及び協力援助事業③風俗環境の浄化事業④各種防犯関係団体との連絡調整⑤防犯功労者等に関する表彰などの事業に対し補助を行う。		②防犯灯維持管理費補助灯数	業務取得	
		③鎌ヶ谷市防犯協会補助金支出額	業務取得	
(3)事業の意図(対象をどのようにしたいのか。どう変えたいのか。※どんなサービスニーズに応えるかでも可)	成果指標	指標名称(意図の達成度を示す)	データ出典	
○防犯灯補助事業:防犯灯の維持管理に要する費用を市が補助し、管理運営を防犯灯管理団体が行うことにより、夜間の安全確保及び防犯意識の高揚による犯罪の抑止を図る。	→	①防犯灯設置灯数	業務取得	
○防犯協会補助事業:防犯協会による市域全体の防犯活動の充実を図ることができる。日常事務及び防犯指導員の指導者として 防犯協会に事務局長(県警察OB)を配置することで、市民の防犯活動の向上が図れる。		②防犯パトロール隊参加者数	業務取得	
		③防犯サテライト事業参加者数	業務取得	
(4)結果(どんな結果に結びつけるのか。※基本計画の施策の「めざす姿」との関わり)	施策成果指標	指標名称(結果の達成度を示す)	データ出典	
防犯灯の整備により、犯罪の起こりにくい環境が整備されると共に、市民が防犯協会と連携しながら、自主的な防犯活動が展開されることで防犯体制が整備される。	→	①刑法犯認知件数	業務取得	
		②防犯パトロール隊団体数	業務取得	
		③		

2. コスト・実績の推移	年度	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標年度(年度) 今後の計画総額
			決算	決算	決算	決算見込み額	予算額	
コスト・指標	(1)総事業費 自動計算	千円	52,293	44,680	45,528	60,712	67,117	0
	①国庫支出金	千円						
	②県支出金	千円						
	③市債・その他財源	千円						
	④一般財源	千円	52,293	44,680	45,528	60,712	67,117	
	(2)総所要時間(0.5単位) ①+②+③ 自動計算	時間/年	0	2,748	3,091	3,450	0	0
	①正職員(時間内)	時間/年		2,100	2,520	2,760		
	②正職員(時間外)	時間/年		284	267	347		
	③非常勤職員	時間/年		364	304	343		

3. 指標の推移等	指標		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標年度(平成27年度) 将来目標値
	(1)対象指標	①	灯	7,340	7,457	7,560	7,672	7,826
②		団体	81	82	82	82	84	
③		人	1,594	1,561	1,711	1,850	1,802	
(2)活動指標	①	灯	66	50	53	51	52	
	②	灯	7,274	7,407	7,507	7,621	7,774	
	③	千円	5,320	5,306	5,680	5,680	5,765	
(3)成果指標 ※基本事業成果指標等	①	灯	7,340	7,457	7,560	7,672	7,826	
	②	人	1,594	1,561	1,634	1,850	1,802	
	③	人		340	170	170	210	
(4)施策成果指標	①	件	1,498	1,472	1,634	1,494	1,314	1,400
	②	団体	37	39	42	47	48	38
	③							
(5)指標の推移に影響を与えるような外的な要因はあるか。それは何か。			犯罪発生件数(刑法犯認知件数)を減少させるためには、警察との連携強化が必要である。					

4. 環境分析	(1)事業開始の背景・開始時の環境	平成3年の鎌ヶ谷警察署設置を契機に防犯対策基本要綱を制定し、鎌ヶ谷市防犯協会が設立された。当要綱には市が処理すべき防犯に関する事項として、防犯協会の育成及び活動助成、防犯灯の設置及び維持管理の推進が定められ、補助事業などを行っている。	(2)過去5年間で事業を取り巻く環境はどのように変わったか ※新規は記入不要	市内の防犯灯や防犯パトロール隊の数は増加し、昨年までは市内の刑法犯認知件数が減少傾向にあったが、今年度は増加した。
	(3)今後事業を取り巻く環境はどのように変わることが予想されるか	都市化の一層の進展により、犯罪が増加する恐れがある。一方地域の防犯意識の高揚により、防犯灯の設置要望、防犯パトロール隊の増加が予想される。	(4)事業について市民や議会の意見(市民意識調査、個別要望・意見)	多くの市民から防犯灯の設置要望がある。また、自転車盗やひったくり、侵入盗等の犯罪に不安を感じている。

5. 評価・検討	(1)行政関与の妥当性	3: 高い	(理由)なぜ、市が関与する必要があるのか？ 政府が定めた「防犯灯等整備対策要綱」で、「市町村及び特別区は、防犯灯等を設置する者に対し、その設置の費用の一部を補助すること。なお、一般民間人の負担においてその維持管理に当たっている防犯灯等については、努めてその維持管理に要する費用を負担するよう措置すること。」と規定されている。防犯協会については、住民の防犯意識を高揚し、地域ぐるみの防犯活動の推進を図るため、鎌ヶ谷市防犯対策基本要綱の規定により、活動助成を行っている。
	(2)目的妥当性	3: 高い	(理由)事業の目的は上位の施策にどのように結びついているか。 防犯灯については、地域の実情をよく把握している自治会等の防犯灯管理団体が管理を行うことで、地域の安全は自分たちで守るといった防犯意識の高揚につながると共に防犯対策の強化にもつながる。防犯協会については、協会が中心となり市、警察、市民、事業者が協働して犯罪を減少させようとするもので、重要な施策と考えている。
	(3)公平性	3: 高い	(理由)対象は偏っていないか？ 必要となる対象を広げたり狭めたりできないか？ 防犯灯については、「鎌ヶ谷市防犯灯維持管理費補助金交付基準」や「鎌ヶ谷市防犯灯新設補助金交付基準」により市内自治会等の防犯灯管理団体84団体に公平に補助をしている。 住民の防犯意識を高揚し、地域ぐるみの防犯活動の推進を図る団体として防犯協会に類似する団体はない。
	(4)有効性	3: 高い	(理由)この事業を廃止した場合、施策達成に支障があるか。同じ目的を持つ他の事業はあるか？ さらに成果指標を伸ばせないか？ 市内自治会等の防犯灯管理団体は、財政的に厳しい状況であり、事業を廃止することで防犯灯の維持を行うことが出来なくなる恐れがある。仮に市が直接管理した場合には人件費等のコストがかかり効率的ではない。 また、地域の住民が防犯灯を維持管理することにより防犯意識の高揚が図れ地域ぐるみの防犯活動の推進に寄ることになる。
	(5)効率性	3: 高い	(理由)コストがかかりすぎているか？ 事業費、所要時間を縮減する手段・方法はないか？ 地域の実情をよく把握している自治会等が防犯灯を管理し、経費は行政が負担するという市民との役割分担により、維持管理の人件費コスト等の縮減や地域の防犯意識の高揚が図れ効率的である。
	(6)総合評価	6: 精査・検証	(今後の方向内容) 今後も防犯対策を強化する上でも、市が積極的に関与する必要がある。

6. 改革・改善内容	(1)前回の事務事業評価で掲げた改革・改善内容	既設の防犯灯の修繕が必要となる際に、随時LED等への切替を実施していく。
	(2)(1)に基づく取り組み結果	LED灯の設置を可能にするため、平成24年度に防犯灯新設補助金交付基準を改正した。
	(3)平成25年度に取り組み改革・改善内容	引き続き、新設される防犯灯のLED化を進めていく。

※評価検討(1)～(5) 1: 低い、2: 普通、3: 高い、4: あてはまらない

※総合評価検討(6) 1: 終了、2: 廃止、3: 休止、4: 縮小、5: 改善、6: 精査・検証、7: 拡充

1 終了: 事業が完了したので、終了する

2 廃止: 事業を廃止する

3 休止: 再開を前提に休止する

4 縮小: 好ましくない状況なので、規模を縮小する

5 改善: 事業実施方法等について、改善した上、継続する

6 精査・検証: 業務手法等について精査・検証の上、継続する

7 拡充: 重点的に資源を配分し、規模を拡大する

鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)

事務事業(予算)名	夜間防犯パトロール事業		作成課・係	安全対策課安全対策係					
政策名	2.3 安全に暮らせる社会システムをつくります		施策	2.3.2 防犯対策の促進		基本事業	2.3.2.2 防犯活動の推進		
関連計画・根拠法令等	①緊急雇用創出事業実施要領 ②		③	④					
事業区分	継続	前回総合評価	6.精査検証	実施計画掲載	有	行革推進対象	無	事業実施主体	3.市
関連類似事業名	児童生徒安全パトロール事業		予算(款)	2	予算(項)	1	予算(目)	11	予算コード
									3701

1. 事業の目的	(1)事業の対象(誰を、何を対象としているか。範囲は。※補助事業等の場合は負担金・補助金の支払先も記入) 対象:市内で発生している犯罪 補助金:千葉県緊急雇用創出事業補助金 支払先:第一警備保障㈱(警備会社)	対象指標	指標名称(対象の大きさを表す)	データ出典
	(2)事業の概要(手段、具体的な事務事業のやり方、手順、詳細を記入) 青色パトロール車2台、2人1組の計4人により市内全域のパトロールを実施する。 また、不審者を発見した場合は、直ちに警察へ通報する。	活動指標	指標名称(手段や活動内容を示す)	データ出典
	(3)事業の意図(対象をどのようにしたいのか。どう変えたいのか。※どんなサービスニーズに応えるかでも可) 犯罪のない安全で安心なまちづくりの実現を目指すため、犯罪の多い夜間にパトロールを実施することで、犯罪件数を減少させる。	成果指標 (基本事業成果指標等)	指標名称(意図の達成度を示す)	データ出典
	(4)結果(どんな結果に結びつけるのか。※基本計画の施策の「めざす姿」との関わり) 犯罪が多く発生している夜間に市内全域のパトロールを実施することにより、夜間の犯罪を抑止し、安全で安心な生活環境を確保出来る。	施策成果指標	指標名称(結果の達成度を示す)	データ出典

2. コスト・実績の推移	年度	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標年度(年度) 今後の計画総額
			決算	決算	決算	決算見込み額	予算額	
(1)総事業費 自動計算		千円	0	0	7,319	7,214	10,844	0
	①国庫支出金	千円						
	②県支出金	千円			7,319	7,214	10,844	
	③市債・その他財源	千円						
	④一般財源	千円						
(2)総所要時間(0.5単位) ①+②+③ 自動計算		時間/年	0	0	720	720	720	0
	①正職員(時間内)	時間/年			720	720	720	
	②正職員(時間外)	時間/年						
	③非常勤職員	時間/年						

3. 指標の推移等	指標		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標年度(平成27年度) 将来目標値
	(1)対象指標	①	人				107,887	108,816
②		件				1,494	1,314	1,400
③								
(2)活動指標	①	回				210	260	
	②	件				26	36	
	③							
(3)成果指標 ※基本事業成果指標等	①	件				1,494	1,314	1,400
	②	件				26	36	
	③							
(4)施策成果指標	①	件				1,494	1,314	1,400
	②	団体				47	48	38
	③							
(5)指標の推移に影響を与えるような外的な要因はあるか。それは何か。								

4. 環境分析	(1)事業開始の背景・開始時の環境	平成22年、市内の犯罪発生件数が増加し、その中でもひったくりが急増したため、犯罪発生が多い夕方から夜間にかけて夜間パトロールにて犯罪を抑止することが求められる。	(2)過去5年間で事業を取り巻く環境はどのように変わったか ※新規は記入不要	
	(3)今後事業を取り巻く環境はどのように変わることが予想されるか	各地域で結成されている防犯パトロール隊のパトロール後を引き継ぐ形で実施することで、犯罪発生を抑止することが予想される。	(4)事業について市民や議会の意見(市民意識調査、個別要望・意見)	犯罪を防止するための対策が求められている。

5. 評価・検討	(1)行政関与の妥当性	3:高い	(理由)なぜ、市が関与する必要があるのか？ 犯罪から市民の安心安全を守ることは市の責務である。
	(2)目的妥当性	3:高い	(理由)事業の目的は上位の施策にどのように結びついているか。 犯罪が多い時間帯(夜間)における犯罪を抑止でき、市民が安心して暮らせる社会システムの実現に繋がる。
	(3)公平性	3:高い	(理由)対象は偏っていないか？ 必要となる対象を広げたり狭めたりできないか？ 市内全域の夜間防犯パトロールを実施している。
	(4)有効性	3:高い	(理由)この事業を廃止した場合、施策達成に支障があるか。同じ目的を持つ他の事業はあるか？ さらに成果指標を伸ばせないか？ この事業を廃止した場合、代替する事業はなく市の防犯体制に支障が生じる。
	(5)効率性	3:高い	(理由)コストがかりすぎているか？ 事業費、所要時間を縮減する手段・方法はないか？ 県の緊急雇用創出事業補助金を使うことで経費を抑えている。現状の方法が最適と考える。
	(6)総合評価	6:精査・検証	(今後の方向内容) 今後も引き続き防犯体制を強化する必要がある。

6. 改革・改善内容	(1)前回の事務事業評価で掲げた改革・改善内容	継続的に防犯体制の強化に努める。
	(2)(1)に基づく取り組み結果	刑法犯認知件数の低下につながった。
	(3)平成25年度に取り組む改革・改善内容	継続的に防犯体制の強化に努める。

※評価検討(1)~(5) 1:低い、2:普通、3:高い、4:あてはまらない

※総合評価検討(6) 1:終了、2:廃止、3:休止、4:縮小、5:改善、6:精査・検証、7:拡充

1 終了:事業が完了したので、終了する

2 廃止:事業を廃止する

3 休止:再開を前提に休止する

4 縮小:好ましくない状況なので、規模を縮小する

5 改善:事業実施方法等について、改善した上、継続する

6 精査・検証:業務手法等について精査・検証の上、継続する

7 拡充:重点的に資源を配分し、規模を拡大する

鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)

事務事業No.28-8

記入日 平成25年 5月27日

点検日 平成25年 5月31日

事務事業(予算)名	防犯カメラ設置事業		作成課・係	安全対策課安全対策係					
政策名	2.3 安全に暮らせる社会システムをつくります		施策	2.3.2 防犯対策の促進		基本事業	2.3.2.1 防犯施設・設備の充実		
関連計画・根拠法令等	①鎌ヶ谷市防犯カメラ管理運用基準 ②		③	④					
事業区分	継続	前回総合評価	6.精査検証	実施計画掲載	有	行革推進対象	無	事業実施主体	3. 市
関連類似事業名	なし		予算(款)	2	予算(項)	1	予算(目)	11	予算コード
									3901

1. 事業の目的	(1)事業の対象(誰を、何を対象としているか。範囲は。※補助事業等の場合は負担金・補助金の支払先も記入) 対象:市内で発生している犯罪 補助金:千葉県ひたくり対策防犯設備設置事業補助金 支払先:(株)長野県パトロール	対象指標	指標名称(対象の大きさを表す)	データ出典
			①鎌ヶ谷市常住人口(平成24年4月1日)	業務取得
			②刑法犯認知件数	業務取得
			③ひたくり犯罪件数	業務取得
	(2)事業の概要(手段、具体的な事務事業のやり方、手順、詳細を記入) ひたくり犯罪等を減少させるため、千葉県がひたくり対策重点区域として指定した市内3地区(東中沢・東初富・道野辺中央)及び新鎌ヶ谷駅周辺地区に設置した防犯カメラ(17台)の円滑な運用を行う。	活動指標	指標名称(手段や活動内容を示す)	データ出典
			①防犯カメラ設置区域	業務取得
			②防犯カメラ設置台数	業務取得
			③ひたくり犯罪件数	業務取得
	(3)事業の意図(対象をどのようにしたいのか。どう変えたいのか。※どんなサービスニーズに応えるかでも可) 犯罪のない安全で安心なまちづくりの実現を目指すため、防犯カメラを適切に運用することで、犯罪の起きにくい環境にする。	成果指標 (基本事業成果指標等)	指標名称(意図の達成度を示す)	データ出典
			①防犯カメラ設置区域	業務取得
			②防犯カメラ設置台数	業務取得
			③刑法犯認知件数	業務取得
(4)結果(どんな結果に結びつけるのか。※基本計画の施策の「めざす姿」との関わり) 犯罪が減少し市民が安心して暮らせる。	施策成果指標	指標名称(結果の達成度を示す)	データ出典	
		①刑法犯認知件数	業務取得	
		②防犯パトロール隊団体数	業務取得	
		③		

2. コスト・実績の推移	年度	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標年度(年度) 今後の計画総額
			決算	決算	決算	決算見込み額	予算額	
コスト・指標	(1)総事業費 自動計算	千円	0	0	7,017	2,357	2,954	0
	①国庫支出金	千円						
	②県支出金	千円			6,000			
	③市債・その他財源	千円						
	④一般財源	千円			1,017	2,357	2,954	
	(2)総所要時間(0.5単位) ①+②+③ 自動計算	時間/年	0	0	1,353	1,353	1,353	0
	①正職員(時間内)	時間/年			960	960	960	
	②正職員(時間外)	時間/年			393	393	393	
	③非常勤職員	時間/年						

3. 指標の推移等	指標		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標年度(平成27年度) 将来目標値
	(1)対象指標	①	人				107,887	108,816
②		件				1,494	1,314	
③		件				25	29	
(2)活動指標	①	区域				4	4	
	②	台				17	17	
	③	件				25	29	
(3)成果指標 ※基本事業成果指標等	①	区域				4	4	
	②	台				17	17	
	③	件				1,494	1,314	1,400
(4)施策成果指標	①	件				1,494	1,314	1,400
	②	団体				47	48	38
	③		-	-	-	-	-	-
(5)指標の推移に影響を与えるような外的な要因はあるか。それは何か。								

4. 環境分析	(1)事業開始の背景・開始時の環境	平成22年、市内の犯罪発生件数が増加し、その中でもひったくりが急増したため、犯罪発生が多い夕方から夜間にかけての犯罪を抑止することが求められる。	(2)過去5年間で事業を取り巻く環境はどのように変わったか ※新規は記入不要	
	(3)今後事業を取り巻く環境はどのように変わることが予想されるか	防犯カメラ設置により、犯罪抑止し、安全で安心な生活環境を確保出来る。	(4)事業について市民や議会の意見(市民意識調査、個別要望・意見)	犯罪を防止するための対策が求められている。

5. 評価・検討	(1)行政関与の妥当性	3:高い	(理由)なぜ、市が関与する必要があるのか？ 犯罪から市民の安心安全を守ることは市の責務である。
	(2)目的妥当性	3:高い	(理由)事業の目的は上位の施策にどのように結びついているか。犯罪の抑止に繋がるとともに、犯人検挙にも繋がりを、市民が安心して安全して暮らせる社会システムの実現に繋がる。
	(3)公平性	3:高い	(理由)対象は偏っていないか？ 必要となる対象を上げたり狭めたりできないか？ 設置箇所については、千葉県が指定した「ひったくり対策重点区域」と限定されている。
	(4)有効性	3:高い	(理由)この事業を廃止した場合、施策達成に支障があるか。同じ目的を持つ他の事業はあるか？ さらに成果指標を伸ばせないか？ この事業を廃止した場合、市の防犯体制に支障が生じる。
	(5)効率性	3:高い	(理由)コストがかりすぎているか？ 事業費、所要時間を縮減する手段・方法はないか？ 現状の方法が最適と考える。
	(6)総合評価	6:精査・検証	(今後の方向内容) 警察との協議のもと、犯罪発生率の高い時間帯のパトロール強化など、今後も引き続き防犯体制を強化する必要がある。

6. 改革・改善内容	(1)前回の事務事業評価で掲げた改革・改善内容	継続的に防犯体制の強化に努める。
	(2)(1)に基づく取り組み結果	刑法犯認知件数の低下につながった。
	(3)平成25年度に取り組む改革・改善内容	継続的に防犯体制の強化に努める。

※評価検討(1)~(5) 1:低い、2:普通、3:高い、4:あてはまらない

※総合評価検討(6) 1:終了、2:廃止、3:休止、4:縮小、5:改善、6:精査・検証、7:拡充

1 終了:事業が完了したので、終了する

2 廃止:事業を廃止する

3 休止:再開を前提に休止する

4 縮小:好ましくない状況なので、規模を縮小する

5 改善:事業実施方法等について、改善した上、継続する

6 精査・検証:業務手法等について精査・検証の上、継続する

7 拡充:重点的に資源を配分し、規模を拡大する